

## 航行予定通報記載要領

- 1 この「航行予定通報用紙」は、伊良湖水道航路を航行する巨大船等の他全ての通航船舶を対象に利用できます。
  - (1) 巨大船・危険物積載船舶・長大物件曳(押)航船等の海上交通安全法第22条に規定されている船舶は、必要事項を省略することなく記載して下さい。
  - (2) 巨大船等以外の船舶は、巨大船等に準じて記載して下さい。  
記載内容により記載欄が小さい場合等は、海上交通安全法第22条の規定から外れない範囲内で枠の大きさなど、変更して差し支えありません。
- 2 船長の氏名は、外国船籍の船長を重視しているため、巨大船等以外の船舶であっても国籍も併せて記載して下さい。
  - (1) 代理店からのFAX送信の場合、提出者の氏名及び連絡先には代理店の責任者を記載します。
  - (2) 船舶からのFAX送信の場合は、船長名を記載し、連絡先には船舶電話番号を記載します。
  - (3) 押印は省略しても構いません。
- 3 (2)「総トン数」欄は、換算トン数を記載します。(名古屋ハーバーレーダーと同じです。)
  - (1) 換算トン数が分からない外国船籍の船舶は、国際総トン数を記載します。(NETトンは、記載しないこと。)
  - (2) 換算トン数が分からない日本船籍の船舶は、国内総トン数を記載します。
  - (3) 軍艦等は、排水トンで差し支えありません。
- 4 (3)「船舶の全長」欄は、LOA(Length Over All)を記載します。「船体の長さ」ではないため、注意して下さい。  
初入湾等で船舶データが揃わず、総トン数が不明の場合は一先ず空欄とし、国籍証書若しくはParticular 等が手に入り次第速やかに連絡して下さい。
- 5 (4)最大喫水は、1万トン以上又は全長130メートル以上の船舶は、必ず記載して下さい。
- 6 (6)及び(7)については、曳航長200メートル未満の曳(押)航船舶も必ず記載して下さい。
- 7 (8)「仕向港」欄は、仕向港の上部に前港も併せて記載して下さい。
  - (1) 外国の港の場合は、国名若しくは地域の名称を記載して下さい。
  - (2) 日本の港の場合は、港区名ではなく港名を記載して下さい。
  - (3) ドックや観光目的の離島等への入出港の場合は、島名で構いません。
- 8 (9)区間(北航・南航)は、どちらかに で囲んで下さい。  
(11)及び(12)欄の右側の空白には、何も記入しないで下さい。
- 9 本船に船舶電話若しくは連絡用の携帯電話がある場合、記載して下さい。

- (1) 船からのFAX送信の場合は、(14)に記載されるため省略できます。
  - (2) VHFの有無に関しては、搭載していない場合のみ、「VHF無し」と記載して下さい。
- 10 (14)「伝達者の氏名又は名称及び住所」欄は、航行予定通報を作成した担当者として、
- (1) 連絡用電話番号及び指示書等送信用のFAX番号は、必ず記載して下さい。
  - (2) 代理店においては、夜間入航時通航船舶についての問い合わせを行う場合がありますので、夜間連絡先を必ず記載して下さい。
  - (3) 船舶からのFAX送信の場合は、担当者名と職名を記載して下さい。
- 11 「備考」欄の水先人乗船(有・無)は、どちらかに で囲んで下さい。
- (1) 強制水先区である伊良湖水道航路で水先人を不要とする法的根拠がある船舶である場合は、その旨を次のように記載して下さい。
  - (2) 海上運送法第2条第3項の定期航路事業に使用する船舶である場合は、「定期航路事業」と記載して下さい。
  - (3) 水先人法第13条第1項ただし書き、及び同法施行規則第22条の「航海実歴認定書」を有した者が船長として乗船している場合は、「航海実歴認定書有」と記載し、氏名・認定書番号・認定書有効期間満了日(例;海保太郎 07 - 10 2009.9.29)を併せて記載して下さい。
  - (4) 水先人法第13条第1項ただし書き、及び同法施行規則第22条の5第5号の国土交通大臣が定める基準を定める告示の規定により要件を満たし、外国船籍の船長として乗船している場合は、「能力認定書」と記載し、その氏名等を「航海実歴認定書」同様に併せて記載して下さい。
  - (5) 初入湾の場合、「初入湾」と必ず記載して下さい。
  - (6) 巨大船以外の船舶にあつては、巨大船の灯火及び形象物の有無については、省略して差し支えありません。
- 12 用紙は、日本工業規格A列4番です。  
最下欄にある 印のある欄には、何も記入しないで下さい。